施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 下水道課

施策名	38 下水道
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・下水道管路・処理施設が整備され、衛生的なまちが保たれています。
	0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
下水道の経費回収率	%	73	85		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	75	69	71		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
下水道の更新計画策定進捗率	箇所	21	29		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	22	28	29		

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

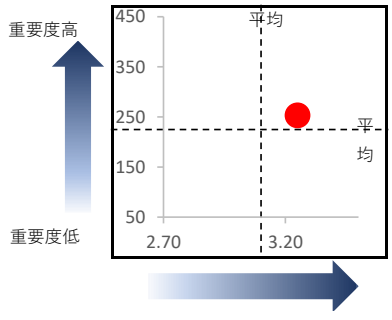
重要度／単位（人）
令和7年度
253

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
92.5	→	92.8

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

z

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

下水道は、市民の快適な暮らしに欠かすことのできないライフラインの一つです。
安定した下水処理を継続するため、老朽化した下水道設備を計画的に更新するとともに、将来の処理水量を見据え、施設の統合及び縮小によるコストダウンの検討を行っていきます。
また、策定した更新計画を推進するため、経営戦略の見直しを行い、財源確保の道筋を立てることで、持続可能な事業運営に努めて行きます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
0					